



2007/08 WEEKLY BULLETIN

国際ロータリー第 2790 地区第 3 分区 B

市原ロータリークラブ会報

第 2158 回例会 2008 年 3 月 5 日(水) SAA / 鶴岡会員 会報担当 / 山本会員

例会会場 五井グランドホテル 市原市五井 5584 - 1 事務局 TEL 0438-38-3535



点 鐘 市原 RC 会長 角谷修
ソング 君が代 奉仕の理想 四つのテスト唱和
お客様 切替尊弘様 佐久間崇夫様 (見学)

会長挨拶 市原 RC 会長 角谷修



皆さん こんにちは！
今日はクラブ活性化のために「私達の C.L.P」と題して 3 月度のクラブフォーラムを開催致します。

司会を始関会員、コメンテーターに常泉、小池、上條各会員をお願いしてあります。先般クラブ運営に関する「会員アンケート」を実施致しましたがその結果も参考にしてフォーラムを進行致します。

私達のクラブの活性化のために今 私達は何をすべきか?をご一緒に考えてみたいと思います。どうぞ活発な意見交換をお願い致します。

幹事報告 幹事 斎藤崇志

- ・理事会にて 4 月プログラム承認されました。
- ・ R I より市原中央高校のインタークラブ承認、3/29 伝達式を行います。
- ・明大マンドリン演奏会の後援を決定しました。

委員会報告

千葉職業奉仕委員長 「私の職業奉仕」新入会員は原稿 3/18 まで。まだ未提出の方も早めをお願いします。

蔵内ロータリー財団委員長 白鳥ガバナーより P H F のご寄付をいただきました。

誕生日・結婚記念日

誕生日祝：赤星会員、角谷会長、三平会員、西村芳雄会員
福原会員

結婚祝：小池会員、白鳥会員、山田会員、蔵内会員
長田会員、澤井会員

クラブフォーラム「私たちの C L P」

今回の目的・・・

C L P (クラブリーダーシッププラン) について、言い



司会 始関会員

方を変えれば「クラブ活性化」の情報及び意見交換であり、結論を出したり、決めることが目的ではありません。クラブが生き生きと活動してゆくためには、どの様にしたら良いのか、全会員が現状を理解し、認識を共有することが必要と考え開催します。

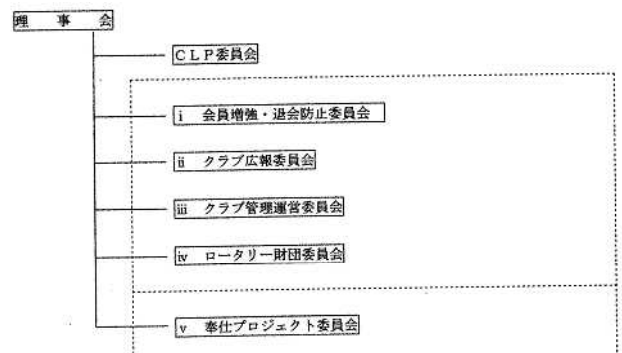


パネラー発表 上條会員

(資料抜粋)

C L P とは、基本理念と組織について

1980 年代、1 クラブ当たりの会員数が比較的に小人数であったヨーロッパ地区で多用されていたクラブの管理システム。2005 年のロータリー 100 周年記念国際大会でサンライズ RC (カナダ、バンクーバー) の C L P 成功事例発表があり、C L P が世界中で普及する切っ掛けになる。当地区では 2007/08 年度成田 RC が本格的に C L P を導入して実績を上げる。市原 RC は 2006/07 年度(津留会長)総会にてクラブ細則を C L P 形式に改正。



点線内の 2 つのボックスの双方に全会員が所属する。

CLPがクラブ活性化をもたらす急所

・旧クラブ組織は奉仕委員会別に構成されているのに対し、CLPでは機能別組織で構成し、効率的運営の構築をめざす。

・会員全員が4つの常任委員会と奉仕プロジェクトの2委員会に所属する。何かの奉仕プロジェクトに全員が所属し、社会奉仕活動の実践の中から奉仕の喜びを会得することにより「超私の奉仕」精神が各自の職場で職業奉仕活動を活発にする。

・CLPはクラブ活性化の手段であり、目的ではない。CLP導入を会員全員で検討すること自体がクラブの活性化に繋がるのだから、自クラブに合ったCLPの構築に向けて議論を重ね、数度の細則変更を行い、時間をかけて熟成することが望ましい。

予想されるCLPの欠点

・国際奉仕、社会奉仕、職業奉仕と言った委員会が無くなり、移行時期に戸惑いをもたらす。特にロータリーの基本理念である職業奉仕理念 I serve については、CLPでは奉仕プロジェクトが先行するために、We serve がクローズアップされる懸念がある。

・旧組織では15~25の委員会があったのに対し、CLPでは5常任委員会となり、その下部組織として小委員会やプロジェクトチームが結成されるものの、委員長というポストが減少して任務への責任感が希釈になる。



パネラー 小池会員

地区幹事長として地区大会でCLPをテーマにパネルディスカッションを行った意図とその後の反応は？

CLPの理解を得なければ会員増強ははかれない。

<会員数の推移>

世界のロータリアン

2002年 1,243,431名(最高)・・・以後減少に転ず

2007年 1,210,047名(-33,384名)

世界のクラブの会員数の構成

10~25人 40%

26~50人 40%

51~75人 13%

第2790地区のロータリアン数

1995年 4,350名

2007年 2942名(-1,408名)

第2790地区のクラブ会員数の構成

10~19人 6% 極弱小クラブ

20~29人 26% 弱小クラブ

30~39人 19% 要注意クラブ

40~49人 19% 国際的平均クラブ

50~59人 10% 理想的クラブ

60~人 2%

白鳥ガバナー・エレクト年度の地区協議会が終了後、地区幹事会は地区大会の企画に入り、第1日目の会長・幹事会の企画を考えた時、上記のクラブ会員数の構成表の如く、クラブ会員数が40人以下のクラブが51クラブもあり、会員減少による奉仕活動が十分されていない状況を伺っておりました。特に、19名以下のクラブは次第に消滅の危機に入っていると推察されます。

この状況は、今までのクラブ運営管理の組織が推奨ロータリー・クラブ細則に基づく4大奉仕を柱に19程度の委員会組織を設け、1委員会1~2名の委員で極少人数会議が行われ、実を結ぶ結果が得られないため、奉仕活動の停滞が余儀なくされ、益々クラブの活性化がなくなりつつあります。この状況を鑑み、各クラブへCLP導入に関する情報を与える事が最善と考え、地区大会での企画を上條地区大会実行委員長にお願いし、「クラブの活性化」と題し、5名のパネリストを選考して頂き、フォーラムを開催して頂きました。パネリストの中にCLP導入の先進クラブの方が居られ、大変参考になるお話が拝聴出来ました。

このフォーラムは大変有意義なフォーラムとの評価を頂いたことは、ガバナー補佐会議やガバナー公式訪問での白鳥ガバナーの事情聴取でも多く聞かれたそうです。それだけ理解された事であると思います。又、市原RCの津留会長は真っ先にCLP導入に取り掛かり、2006~07年度に導入の運びとなりました。

方、白鳥ガバナー年度に入るや、成田RCから地区幹事長の私にCLP関係の書類の依頼がございましたので送り致しました。次年度よりCLPを採用され、クラブの組織管理がスタート致しました。ガバナー補佐も各クラブの会長幹事にCLPの理解、導入をされるようアクションを起こされました。特に第9分

区のクラブを率いる横芝 RC の菅井ガバナー補佐は色々な手段を使い、各クラブに CLP の理解と導入を促したとお聞きしております。次年度より横芝 RC でも CLP を導入する予定とのこと。数年後の地区の状況は期待が持てるものと思います。

まとめ

- 1 DLP は地区に義務化され、当地区は導入済み。
 - ・ガバナー補佐制度設定・・・クラブに 4 回訪問支援
 - ・地区研修リーダー・地区委員会がクラブを支援
 - ・クラブが CLP 導入時に地区の DLP は最大の支援をする。
- 2 CLP は推奨ロータリー・クラブ管理組織として新しい推奨クラブ細則として提唱されている。(3 月末手続要覧配布予定)
 - ・クラブ活性化の為に全クラブで CLP 導入の検討を重ねること
 - ・クラブは会員基盤を充実させることが第一であり、30 人以下の弱小クラブは CLP 理念を取り入れ、一年を通じて会員増強に励み、効果的なクラブの育成を計ること。
 - ・簡易組織で協議を熟し、効果的なクラブの推進を計ること。



パネラー 常泉会員

地区クラブ奉仕委員長として CLP に対する見解

地区に在籍して 3 年間のうち、2 年の間、CLP についての協議は、一度もありませんでした。3 年目、白鳥ガバナーが誕生し、クラブ奉仕委員長を担当、小委員会の情報委員会の委員長を兼任しました。

ご存知のように、地区大会で CLP についてパネルディスカッションの計画がありましたので、クラブ奉仕委員会では、情報把握のため、全委員で研修会を持ちました。当時は本格的に導入を図り、組織改革に取り組んでいたのは成田 RC のみでした。

RI で示された、クラブ組織改革モデルは、会員少数クラブには十分検討に値する内容であり、地区としても、早急に相談、助言の体制をとるべきであるとの

共通認識でした。従って、地区大会におけるパネルディスカッションは、地区外から招いた先進 RC、そして成田 RC の報告は、今日的課題を広く議論する場として良いタイミングであったと思っています。

委員長退任に当たって、今年度は各クラブでも CLP が話題になるであろうと考え、成田クラブ会長を地区委員として助言活動できる最適任者として、ガバナーに推薦しておきました。

当クラブでは、2 年前に、早期に CLP に取り組み、細則の変更もしました。大変な英断であり、意欲的な、挑戦に敬意を表するものです。ただし、やや、急いだ経過があり、不具合が生じたようで、一部変更の提案のようです。この機会に、本来、最も必要であったはずの、クラブ内での十分な論議をしようとの、今回のフォーラムは、会員共通の理解を深めるために、価値のある取り組みで、今後も是非、お願いしたいものです。

本来、改革の手始めは、クラブ内の問題点を棚卸し、会員共通の土壌で、問題点を整理し、取り組む必要があり、そのプロセスを大事にしたいものです。一会員として、反省しています。

< アンケートの回答から >

- ・90%以上の会員が受け入れられている
 - ・90%以上の会員が例会を楽しんでいる
 - ・組織としての現状について、
 - 満足 80%
 - 不満足 20%(委員会の存在がわかりにくいなど)
- 「委員長が動かないといけない」常泉会員

< 意見交換及び質問 >

蔵内会員

「新入会員を大切にすべきだと思う。何でも相談できるアドバイザー(チューター制度のようなもの)が必要ではないか？自分の場合は始関さんがいて助かった。」

上條会員

「確かにそうだと思う。増強・退会防止委員長の役割になる。」

山崎会員

「当クラブの活性化についてどう考えているのか？」

上條会員

「平たく言えば、楽しいから来るとのこと。」

小池会員

「4人から始まったロータリー、今は委員会組織になっている。それを組み合わせるのが理事。会長、委員長のリーダーシップが大事だと思う。」

常泉会員

「不満のままやめる人が多い。1つは何のためにロータリー・クラブがあるのか、基本理念が理解されていない。どんな会でもそう。Q & Aの冊子も参考にしてもらいたい。」

ニコニコ・ソーリーボックス

常泉会員・小池会員・上條会員・始関会員 今日のクラブフォーラムが何かのお役に立てれば幸いです。

藤谷会員 東電姉崎火力さんで園児が松ぼっくり拾いをさせていただきました。職員の方5~6名がお手伝いしてくれました。毎年ありがとうございます。

斉藤博会員 岡本会員殿に大変示唆に富んだ本をいただきました。厚く御礼申し上げます。

三平会員 母校の安房高校が21世紀枠の選抜で甲子園に出場することになりました。ニコニコをすっかり忘れて、去年の寄付の送金にあわせ遅ればせながらいたします。

加藤会員 2月15日結婚35周年を無事？迎える事ができました。

上條会員 加藤さん、おみやげありがとう。

出席報告

前々回確定 74.5% 本日出席者 39名
本日欠席者 12名 本日出席率 76.4%
点鐘 市原 RC 会長 角谷 修